

佐倉市一般廃棄物処理基本計画の見直し（案）に寄せられた  
意見と市の考え方について

(1) 意見募集結果

意見募集期間	平成 25 年 9 月 4 日から平成 25 年 9 月 18 日
意見募集結果	意見提出者数 3 名、提出件数 13 件
意見に対する対応	意見を参考に案を修正したもの 0 件

(2) 意見の内容と市の考え方

No.	提出された意見の内容	意見に対する考え方	案の修正の有無
1	<p>佐倉市一般廃棄物処理基本計画（案）32 ページ、①資源回収などへの支援について 資源の自治会等による集団回収をについて、現状回収方法を知る方法が現在非常に限られており、特に転入してきたばかりや単身世帯などで、資源物（特に市で収集していない古紙類）の排出に困る状況や、結果的に燃えるゴミとして出さざるを得ない状況、また不正なゴミ排出となってしまう状況が見られるように思います。</p> <p>今後も自治会による集団回収を進めるにあたり、在住する市民に対する現在よりも積極的な情報提供（特に転入時等）や、回収の情報が得やすい環境の提供（自治会情報など、場合によっては市の関連部署との連携として）が行われるような施策をお願いできませんでしょうか。</p>	<p>集団回収の促進が図れるよう情報提供に努めてまいります。</p>	無
2	<p>ごみに関する佐倉市の方針、関連資料について拝見し、佐倉市は事業者より生活者の方がウエイトが高いことが分かりました。では生活者の実態と今後予想を踏まえた検討課題について考えてみたいと思います。</p>	<p>ご意見として拝聴させていただきます。</p>	無

	市民にとってごみは極めて重いウエイトであること。市民サービスのベスト5にあります。		
3	そのごみは時代とともに意味が変化します。消費時代、バブル期、デフレ期、高齢化期、市の分析が示しています。ごみの減量は進んでいますが、改修費用に反映されていないことが問題です。市民税との関連、あるいは市民に対する便益性の向上の度合い、と相関関係にあります。収集回数、一回当たりの収量の関係、回収業者、回収方法、回収技術など多面的に検討し効率、簡便、低価格、応益主義の観点から大胆な改革が必要です。	ご意見につきましては、今後の計画策定の参考とさせていただきます。	無
4	社会の変化が激しい時、敏感に計画を見直す時です。これからは人口減、少量消費、資源回収・リサイクルの時代。各家庭ではまだまだ埋もれている資源が多い。	資源ごみの再資源化を促進するため、金属類・小型家電の集積所回収を計画しております。	無
5	市では回収率やリサイクル率を出されていますが、低位に推移しています。なぜですか、佐倉市の特長ですが、市民に対するアクセスがないことです。ごみに関する市民参加がないことです。市民に理解をさせないで、市民は協力しないと嘆いてもその姿勢に疑問を持ちます	リサイクル率低下の主な原因は、集団回収での資源物の回収量が減少傾向にあることです。これは、スーパーなど民間の資源回収の影響であると考えられます。 廃棄物行政の市民参加については、市長の諮問機関である審議会に13名の委員中5名を市民公募委員とするなど、市民の方の声を取り入れるよう配慮しております。今後とも、市民の皆さまにご理解をいただけるよう努力いたします。	無

6	<p>市はごみ問題について、町内会、自治会に説明していると言いますが、そんな会はびくりとも動きません。市は市民に対し、出先の窓口から、税金の徴収窓口まで、市の施策を分かり易く説明をしているでしょうか。縦割り行政の中で、自分の部署以外の事は知らない、これでは理解はされません。市民参加なくして、市民理解はないのです。市民生活にとって重要なベスト5を徹底して理解をさせるのです。</p>	<p>ごみ問題のわかりやすい広報に努めてまいります。</p>	無
7	<p>今後の方針が述べられています。これらは重要事項でしょう。ごみ問題は特にそうです。放射能対策あります。環境保全課は指定管理のうわさもありますが、専門部署として、体制の強化、見直しをされるよう要望します。</p>	<p>環境保全課を指定管理にする予定はございません。その他については、ご意見として拝聴させていただきます。</p>	無
8	<p>ゴミ収集体制の見直し（案）（案）の内容に基本的に賛成です。</p>	<p>ご意見として拝聴させていただきます。</p>	無
9	<p>ゴミ袋は透明なものとの云うことですが、スーパーの一般のレジ袋はダメということなののでしょうか？現在でも市指定のゴミ袋の種類が多く、家庭での保管に問題があります。市の指定ゴミ袋でない点は評価できますが、もう一点ゴミ袋を補完するという点ではあまり使い勝手が良いとは言えません。どうせなら既存の指定ゴミ袋を転用できるようにしてもらえれば良いのですが。</p>	<p>ゴミ集積所における美観への配慮と混入防止の観点から、透明な袋に統一させていただいております。また、透明のものであれば商品の包装等をご使用いただけます。</p> <p>金属類・小型家電は日常的に排出されるものではないので、市民負担軽減のために市指定ごみ袋を設けておりません。なお、既存の市指定袋の転用は、ごみ袋の識別による分別区分や収集作業に影響が及ぶ恐れが予測されますので転用については考えておりません。</p>	無

10	<p>基本計画見直し（案）</p> <p>ゴミ処理についてはg/人・日の目標が明示されているのに生活排水については何もないのはどうしてなのか？生活排水の量は減量する必要がないのだろうか？個人的にはふろの残り湯は洗濯や庭の散水に使い、夏はシャワーにしている。</p>	<p>本計画は、河川や湖沼の水質改善を目的としているため、生活排水を適正に処理する指標として生活排水処理率を目標としております。なお、生活排水の減量は、生活排水処理率に反映しませんが、節水は非常に大切なことからご意見として承ります。</p>	無
11	<p>ゴミ処理量を減らす方向なのは理解できるが、現状の方法では今以上の減量は難しいと考える（分別はかなり実施されているので）。そこでゴミ置き場での観察から以下のような提言をしたい。</p> <p>ビンもカンも毎回かなりの多くの家が袋を出している（カンの方がかなり多い）。よく見るとカンではビールとかソフトドリンクとかが多いようである。ビンもリポビタンなどを愛用している人のものが多い。ところがそうしたモノは自動販売機などで買えば、そばに設置されているビン、カンの箱で回収するようになっている。そこで市民に購入先のビン・カン回収箱に入れるよう啓蒙できないだろうか。そうすれば、ビン・カンの回収手間と費用が減少する。もしくはその部分は自治体連合で製造・販売業者が負担するよう要求する。</p>	<p>市内小売店等と連携し、店頭回収等について推進してまいります。</p>	無
12	<p>最近使い捨てを前提としたビニール傘がよく捨てられているのを見かける。ひどい場合は路上に捨てられている。傘もおしゃれ道具の一つという啓蒙活動をして、ビニール傘の廃棄の減少を目指す必要があるのではないだろうか。</p>	<p>資源の有効利用を推進する観点から、今後の啓発活動の参考とさせていただきます。</p>	無

13	<p>ゴミ処理の問題は現代世界共通の課題と言えますが、社会全体の道徳観とも関連しています。</p> <p>大量生産・大量消費を奨励してはゴミを減らすことは難しいでしょう。であるならば、自治体や住民のみに負担をさせるのではなく、製造業者・販売業者にも協力してもらおうのが当然だともいます。</p>	<p>ごみの減量化、再資源化の推進に取り組むうえで、関係機関を通じ国等へ要望してまいります。</p>	無
----	---	--	---